

## 海外旅行保険およびイラックサポートサービス加入について補足資料

### 1. 海外旅行保険

渡航期間中は、どんなに注意を払っても自然災害、事件、事故に遭遇する可能性がないとはいえません。また、どんなに健康に自信があっても日本と違う環境で病気になる可能性もゼロとはいえません。しかも、海外での治療費用は下記のとおり日本と比べて桁違いに高額であるうえ、現金での支払いが必要です。特に欧米に行く場合はご注意ください。

アメリカで急な腹痛に襲われ受診。盲腸と診断され入院(1-3日)・手術	治療救援費300万円
カナダで足の痛みと腫れで受診。化膿性関節炎と診断され入院。家族が駆けつけ、看護師付き添い医療搬送。	治療救援費880万円
カナダで急な腹痛で受診。腸閉塞と診断され入院。家族が駆けつけ、医師・看護師が付き添い医療搬送。	治療救援費1,100万円
アメリカで乗っていたバスが横転。複数肋骨骨折、鎖骨骨折。治療費と帰国航空券代(エコノミー)	治療救援費1,500万円

(ア)必ず海外旅行保険に加入し、十分な補償が受けられる手続きをしてください。

(イ)現地でも最も必要となる「治療費用・救援者費用」の補償金額が合計で最低3000万円以上(欧米の場合)の内容を推奨します。保険料は保険会社、渡航期間、渡航地域によって異なりますが、北米に1週間滞在、治療費用・救援者費用の補償金額が合計3000万円の場合で3000円～5000円程度です。欧米以外の場合、2000万円以上を推奨します。

参照HP：(大学生協) <http://hoken.univcoop.or.jp/travel/sompo/index.html>、  
(海外旅行保険比較サイト) <http://www.207207.jp/>

(ウ)クレジットカード付帯保険はクレジットカードのおまけですので、「治療費用・救援者費用」の合計補償金額が少なく、その他の補償範囲も狭いのでご注意ください。また、当該クレジットカードで旅行代金を支払わないと付帯保険が認められない、万一の事故・病気等の際の事故受付を本人からしか認めない等危機管理上制約があることもご確認ください。クレジットカード付帯保険のみで渡航し、被災した場合には以下のような問題が実際に発生しています。

- 事故受付、支払い手続きを他人が代行できないため、必要な治療費用・救援者費用を確保するために多大な時間を要した
- 治療費用の支払い保証がないため、治療が始められなかった
- 被災者に高額な現金での立て替えや支払い負担が発生した

(エ)ゴールドカードの場合でも、補償内容は海外旅行保険に比べて劣ります。特に治療費用、救援者費用はゴールドカードでも各々300万～400万円程度と一桁少ない点、ご確認ください。

<クレジットカード付帯保険と海外旅行保険の補償内容比較>

	保険料	傷害死亡・後遺障害	疾病・死亡	治療費用	救援者費用	賠償責任	携行品	手荷物遅延費用
クレジットカード付帯保険								
JCB EIT	-	2000万円	-	100万円	100万円	2000万円	20万円	-
オリコカードiB	-	2000万円	-	200万円	200万円	2000万円	20万円	-
JCB ゴールド	-	1億円	-	300万円	400万円	1億円	50万円	-
3カード合計*1	-	1億円	-	600万円	700万円	1.4億円	90万円	-
海外旅行保険								
三井住友海上*2	4520円	3000万円	3000万円	3000万円		1億円	50万円	10万円
損保ジャパン*2*3	3450円	2000万円	2000万円	1500万円	1500万円	1億円	30万円	10万円

\*1-クレジットカード付帯保険の場合、死亡補償はそれぞれのカードの最も高い金額が支払額となります。

\*2-北米7日間の場合

\*3-生協価格

- (オ) 学生の場合、学生教育研究災害障害保険（学研災）がありますが、病気が補償の対象にならない等、補償範囲、補償額が少ないのでご注意ください。
- (カ) 外務省海外安全ホームページでも万が一に備えての海外旅行保険加入を勧めていますので、ご参照ください。[http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/hoken.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/hoken.html)
- (キ) 十分な補償内容を備えた海外旅行保険に加入しない場合は、渡航期間中の病気・怪我等に際し自己負担が多額になる可能性があること、危機管理上の支援内容に制約が生じることをご理解ください。理解していただいていることを確認するため、海外渡航誓約書（学生は全員提出）を提出していただきます。

## 2. アイラックサポートサービス

- (ア) アイラックサポートサービスは危機管理専門会社、日本アイラック社が提供する海外救援活動サービスで、東京農工大と日本アイラック社が基本契約を締結しています。
- (イ) 費用は大学負担で、海外渡航者全員加入となります。
- (ウ) 海外旅行保険が緊急時の際「お金」を保証するのに対して、アイラックサポートサービスは、緊急時の際「救援活動」を提供します。24時間緊急連絡・相談窓口サービス（緊急連絡先は出発前にみなさまにお送りします）、緊急時の病院・保険会社・警察・親族・大使館・関係官庁等と連携した安否確認、人的支援、マスコミ対応等、危機管理のプロの支援、アドバイスを受けることによって、緊急事態に迅速・的確に対応し、海外リスクを最小限にとどめることが可能になります。
- (エ) 前述（1の（イ））の推奨内容の海外旅行保険加入がアイラックサポートサービス加入の前提条件となっています。諸事情から推奨内容の海外旅行保険に加入しない場合は、上記1の（キ）の海外渡航誓約書、簡易メール等をもってアイラックサービスに加入することになります。その場合、渡航期間中の病気・怪我等に際し自己負担が多額になる可能性があることに加え、日本アイラック社の支援内容に制約が生じることをご理解ください。
- (オ) 渡航中に交通事故で入院し、治療救済費が1500万円かかったケースにおいて、推奨内容の海外旅行保険に加入している場合、していない場合の自己負担、アイラックによる支援状況を比較したものが下記です。推奨内容の海外旅行保険に加入していない場合、高額な治療費を自己負担するだけでなく、現金で即金払いできなければ、治療を受けられない可能性もあることをご理解くださいますようお願いいたします。

渡航中交通事故で入院、治療救済費が1500万円かかった場合			
	a) 推奨内容の海外旅行保険加入(治療救済補償3000万円)している場合	b) クレジットカード付帯保険のみ(治療救済補償700万円)の場合	c) 海外旅行保険未加入の場合
1) アイラックによる保険会社に対する事故受付	可能	不可能(事故受付は本人からのみ)	不可能
2) 現地病院に対する現金立て替え払い	不要。アイラックによる事故受付により、治療費は全額保険会社から現地病院に支払い。	クレジットカード付帯保険で補償される700万円も含めて、全額につき現金での立て替え払いが必要。事故受付は本人からのみ可能であるため、保険会社から病院への支払い不可。支払えない場合は治療・入院できない可能性もある。	全額現金払いが必要。支払えない場合、支払い能力を証明できない場合は治療・入院ができない可能性もある。
3) 治療費負担	全額保険でカバー	700万円まではクレジットカード付帯保険でカバー、残額の800万円は自己負担	全額自己負担

\*\*\*